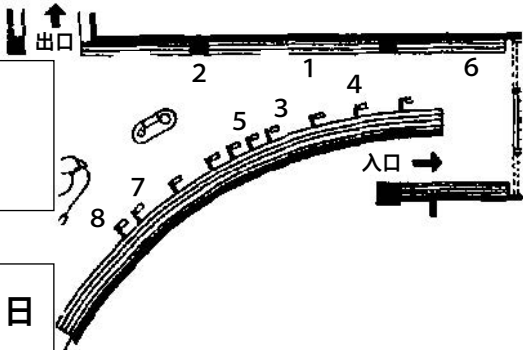


**自然博物館発見ノート**



**展示室**  
5

人間と環境

見学日		年	月	日
-----	--	---	---	---

年 組 氏名

## 1. 美しく多様な地球の自然

大きな映像が中心にある「美しく多様な地球の自然」のコーナーには、茨城県の風景とともに茨城県の様々な動植物が紹介されています。

映像の左側を見ると「茨城県に残したい動植物」のコーナーがあります。どれも絶滅危惧種の動植物です。あなたが特に残したいと考えた動物と植物をそれぞれ1つずつ選んで名前とわかったことを書きましょう。

絶滅危惧種	わかったこと
動物	
植物	

## 2. 川の汚れと浄化作用

(1) 川の上流、中流・下流、河口（干潟）には、汚れた水を浄化するしくみがあります。水を浄化しているものは何ですか。

上流

中流・下流

河口

- (2) 水の汚れの度合いを知る手段に指標生物を調べる方法があります。指標生物とは、水質など環境の状態を私達に教えてくれる生物をいいます。きれいな水にすむ指標生物、大変汚れた水にすむ指標生物をそれぞれ3つずつ、その名前を書きましょう。

きれいな水にすむ指標生物

大変汚れた水にすむ指標生物

( )	( )
( )	( )
( )	( )

### 3. 生物多様性

- (1) 生物多様性は3つのレベルの多様性で構成されています。空欄に当てはまる言葉を書きましょう。

- ・森林、里地里山、河川、湿原など、生き物がすむ環境にもいろいろな種類があること  の多様性
- ・動物、植物、菌類などいろいろな種類の生き物がいること  の多様性
- ・同じ種の生き物でも、わずかに異なる遺伝子をもつことにより、形や模様、生態などにさまざまな個性があること  の多様性

- (2) 長い地球の歴史の中では数多くの生きものが絶滅していきました。1992年、世界全体で生物多様性を守るために取り組もうと作られた条約があります。日本もこの条約を締結しています。条約名を書きましょう。

## 4. 外来種とその現状

もともと日本では見られなかった生きものが日本に入ってきて、近年、茨城県でも確認されています。これらのうち、生態系や人、農林水産業に被害をおよぼすものの中から指定されたものを特定外来生物といいます。展示では5種類の特定外来生物が紹介されています。

展示から動物と植物をそれぞれ1種類ずつ選び、下の表にまとめましょう。

	生きものの名前	展示からわかること（被害や問題点など）
動物		
植物		

## 5. 絶滅危惧種とその現状

動植物が絶滅してしまう主な原因に、「開発」、「採取・捕獲」、「外来種の移入」があります。それぞれどのようなことが起こるのか、左側の映像をヒントに（ ）に合う言葉を書き入れましょう。

開発	森林の（ ）、池や沼の（ ） 道路工事などで、そこにすむさまざまな動植物はすみかをうばわれてしまう。
採取・捕獲 (乱獲)	美しい、珍しい、（ ）で取引されるなどの理由で採取・捕獲されて個体数が（ ）いる。
外来種の移入	人の手などで他の環境から持ち込まれた生き物が、もたらした生きものを（ ）たり、すみかや（ ）をうばったりしてしまう。

## 6. 絶滅した動物

「絶滅した動物」が壁面に描かれています。これらは17世紀から現在までに絶滅してしまった代表的な動物です。19世紀以降、その数が急激に増えていることがわかります。日本にいた動物で絶滅してしまった動物について、生息していた場所、絶滅した時期などを調べましょう。

※1900年の前後を探しましょう。

動物名	生息していた場所	絶滅した年
クアツガ		年
オガサワラカラスバト		年
ニホンオオカミ		年
カンムリツクシガモ		年

## 7. 固有種

(1) 「固有種」とはどのようなものか、説明を書いてみましょう。

(2) 日本の脊椎動物の固有種について各分類群ごとの種数を書き込んでおきましょう。

哺乳類 ( ) 種 鳥類 ( ) 種 爬虫類 ( ) 種

両生類 ( ) 種 魚類 ( ) 種

(3) 日本の陸上植物のうち固有種が占める割合は何パーセントでしょう。